

ムリガンデ駐日ルワンダ大使，御列席の皆様，

本日は，お招き頂き，誠にありがとうございます。日本政府を代表してこの場でお話しできることを光栄に思います。

1994年に起こったジェノサイドは，世界の人々に衝撃を与えました。多くの人材が失われ，ルワンダの国土は荒廃しました。忘れてはいけない悲劇から，今年は21年目にあたります。

今日，ルワンダは国民融和に懸命に取り組み，堅調な経済成長を遂げています。「アフリカの奇跡」と呼ばれる高い経済成長は，いまもなお，奇跡を起こし続け，今やアフリカでビジネスのしやすい国ランキングで第3位になっています。こうした目覚ましいルワンダの経済発展に日本企業も注目しています。昨年8月には，貿易投資促進のための官民合同ミッションがルワンダに初めて派遣され，その後いくつかの日本企業がルワンダを再訪しているのも，その表れです。

世界の平和と安定に対するルワンダの貢献も特筆すべきものです。現在，ルワンダは国連PKOに5000名以上の要員を派遣しており，これは世界で第5位の水準です。あらためて紛争を乗り越え，自ら積極的に世界の平和に貢献していくというルワンダの決意に敬意を表します。日本も国際協調主義に基づく積極的平和主義の下，世界の平和と安定に積極的な貢献をしており，国連南スーダン・ミッション(UNMISS)では日本の自衛隊とルワンダとも協力して南スーダンの安定に取り組んでいます。

ジェノサイドの悲劇を繰り返さないために、自らの困難な過去を振り返り、それを世界中の人々と共有するルワンダの人々の勇気を、私は賞賛したいと思います。現在、世界では民族、宗教の違いによる紛争が絶えません。また、過激主義や排他主義に基づくテロも頻発しています。こうした状況において、ルワンダが進めてきた国民融和の取り組みは見習うべき点を多く含んでいると考えます。

人々が、人としての良識と誇りを持ち、未来への希望を抱き続けられれば、再び寛容な心と和解の精神に立ち戻ることができ、祖国と社会を回復することができるかと確信します。

ジェノサイドが二度と起こらない世界を作りたい。そのルワンダの決意に日本は引き続き賛同します。

御清聴ありがとうございました。

(了)